

令和3年度 第2回山梨支部評議会 議事概要

開催日 令和3年7月14日(水) 14:00~16:00

開催場所 KKR 甲府 ニュー芙蓉

出席評議員 稲田評議員(◎)・千野評議員・野沢評議員・野村評議員(※)・深澤評議員(委任状)・
豊前評議員(※)・堀内評議員(※)・堀之内評議員・茂手木評議員 (五十音順)
◎:議長 ※:オンライン参加

議題 1. 令和2年度決算について
2. 令和2年度支部事業実施結果について
3. インセンティブ制度の見直しについて
4. 運営委員会等の報告について
5. その他

議事概要
(主な意見等)

議題1. 令和2年度決算について

資料①②③に基づき事務局より説明。

(学識経験者)

山梨支部における納付猶予額はどれくらいか。

→山梨県内の3年金事務所の合計で約8億3100万円となっている(6月末時点)。なお、当該納付猶予制度は令和2年2月1日から令和3年2月1日の間に納付期限が到来する保険料に対する特例措置であり、現在当該特例措置は行っていない。現在支払いが厳しい事業所においては、国税徴収法に規定する「換価の猶予」が認められれば、1年の範囲内で猶予を受けることができる。

(学識経験者)

納付猶予されている保険料を勘案した場合、令和2年度の保険料収入の減少は前年度比でどれくらいになるか。

→収納率としては令和元年度 98.4%→令和2年度 96.8%であった。付猶予額を考慮した場合にどれくらいになるかは、3月末時点の猶予額を確認したうえで計算が必要になるため、この場での回答は難しい。

山梨支部においては被保険者数が減少していることも影響していると考えられる。

(事業主代表)

医療給付費において令和2年4月・5月が前年同月比で大きく低下しているが、新型コロナウイルス

ルスの影響ということによろしいか。

→そのとおり。また、11月～2月においては例年風邪やインフルエンザが流行するところだが、マスクの着用や手洗いうがい等の感染症対策により従前ほどの流行がみられなかったため、医療費が低下したと考えられる。

(被保険者代表)

今年3月・4月の山梨支部の医療給付費が増加している要因はなにか。

→まだ分析ができていないため確認したい。

(被保険者代表)

支出は減少しているが収入も減少している。今後は後期高齢者医療制度への拠出金の増加が見込まれるとのことだが、協会の財政は楽観視できる状況ではないということによろしいか。

→そのとおり。

(学識経験者)

準備金残高は支部ごとに算定できるのか。

→協会全体での算定となっている。

(学識経験者)

加入事業所数が増加しているのに対し、被保険者数が減少している要因は何か。

→コロナの影響もあると考えられるが、はっきりした理由は把握できていない。制度変更により教育機関や公務に従事している方が共済組合に転出したことも要因の1つと考えられる。

(学識経験者)

支部の業務経費は減少しており、今後も業務に支障のない範囲で削減に努められたい。

議題2. 令和2年度支部事業実施結果について

資料⑥⑧に基づき事務局より説明。

(学識経験者)

令和2年度はコロナ禍という特殊事情の年であり、例年と比較することは意味がないのではないかと。コロナの裏にある注目すべき動きなどが見えてこなくなる可能性もある。補正できるところは補正して比較するなどの手法を検討していただきたい。

議題3. インセンティブ制度の見直しについて

資料④⑤に基づき事務局より説明。

(被保険者代表)

特定保健指導について、対象が40～74歳とされているが、対象を生産年齢である18歳からに拡大すべきではないか。

→35～39 歳の生活習慣病予防健診受診者に対しては手紙等により、40 歳になられたときに特定保健指導の対象にならないように改善を促している。対象者の拡大についてはご意見として承り本部に報告させていただく。

(被保険者代表)

特定保健指導の案内が来ても、医者に相談しているという理由で指導を希望しない者がいるが、これは実施率に影響を与えるか。

→国で特定保健指導の内容や実施方法が定められており、またデータを保険者に提供することで初めて実施率に算入される。医者に相談することは特定保健指導の要件を満たさず、データも保険者に提供されないため、実施率に反映されない。

(学識経験者)

保険料率引き上げによりインパクトを強めることには賛成しかねる。インセンティブ制度によって「プラスアルファがある」という程度にとどめておかないと、健康保険制度の基幹的な部分にまで影響を与えることになりかねない。各支部の経営に影響を与えるようなものにするべきではない。何らかの歯止めをかけるべきだ。

(被保険者代表)

従業員の立場からすると、保険料率の増減自体にあまり関心がない。制度に関心を持ってもらうために、インセンティブとして例えばクオカードを配布するのはいかがか。健診受診率やジェネリック医薬品使用割合が保険料率に影響するということを見える化し、発信してほしい。

(事務局)

評議会後にご意見等があれば事務局までご連絡をいただきたい。

議題4. 運営委員会等の報告について

資料⑦に基づき事務局より説明。

→評議員から特段意見なし。

議題5. その他

次回の開催予定（令和3年10月予定）、および今回同様、会場とオンラインの両手法による開催を予定していることについて説明。

特記事項

傍聴者 山梨放送（YBS）